



テキパキとこなす心がけを!

先日就職希望のある生徒が、ある企業への応募を希望しましたが、見学後2週間以上経っても履歴書を持って来ず、進路係から会社にまだ応募が可能か問い合わせました。すると、すでに他校の生徒を採用してしまったとのことでした。2次募集は試験日があらかじめ決まっているわけではなく、応募のあったところからどんどん試験が行われ締めきられていきます。

最近皆さんの進路に対する反応を見ていて、動きが鈍くテキパキさに欠けるように思っていました。心配がこうした結果になってしまいました。こうしたことはこの生徒だけの話ではありません。合格した企業や学校への礼状を書くのにも、いつまで経っても書かない生徒がいます。二次募集自体が少ないですが、それでも求人が出た際、なかなか応募してこない生徒が少なくありません。見学に行ってもどうするのが決めかねている生徒も少なくありません。

社会に出たとき、じっくり慎重にことに対応することも大切ですが、何かを決めなくてはいけないときはテキパキと迅速に対応していかなくてはならない場面が多くあります。特に相手のある場合は、テキパキと対応すると、ことはスムーズに運ぶものです。打てば響くような反応をすると人の気持ちは快く感じますが、ぐずぐずした対応をされるといらいらし、叶うことも叶わなくなってしまいます。

世の中は自分だけで動いているわけではありません。人と人との繋がりの中では出来るだけテキパキと対応するよう心がけることが互いの関係を上手いかせ、かつまた、物事を良い方向に導くコツでもありましょう。

「先を読む」



私たちは日々目の前の生活にきゅうきゅうとなりがちです。もし私たちが将来の世界をあらかじめ見ることができれば、日々の生活もずいぶん変わったものになるでしょう。様々な失敗もずっと少なくなるかもしれません。しかしそれはかなわぬことです。

ただ私たちは将来を予め予想することはできません。全てがその予想通りになるわけではありませんが、先を予想することにより、それなりに将来に備えることは出来ます。また予想の精度を上げるためには、それぞれの分野の専門家がどんな予想を立てているかを知ることがまず大切です。そうした様々な情報を知ることにより、よりの確かな予想が出来るでしょう。

今後世の中がどのように変わっていくのか将来を予想し、自分の処し方を考えている人間と、ただ漠然と生きている人間とでは長い人生の中で大きな差が出てくるでしょう。例えば自ら選んでフリーターになろうとしている人はその場のことしか考えていないように思います。もし将来のことを考えれば、フリーターの危うさがわかり、そんな選択肢はしないはずで。

皆さんも日々のニュースに関心を持ったり、世の中の動きに目を向けて、先を読み、自分の人生に振り返るよう心がけてほしいものです。

